

播州赤穂の城下町散歩

平成 28 年 3 月発行
赤穂市教育委員会



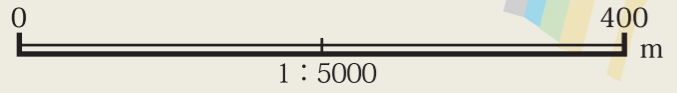
侍屋敷
Samurai resident area in Edo era

町家
Townhouses area in Edo era

寺
Temple in Edo era



- 浅野時代（元禄期）の城下町・中村推定範囲
Region of Akō Jokamachi town in 17c (Edo era)
- 国・県・市の指定文化財
Designated cultural property
- 旧赤穂上水道関連施設・モニュメント
Ruins or Monument of waterworks in Edo era
- 江戸時代の旧上水道ルート
Route of waterworks in Edo era
- ▲ 赤穂市市街地景観重要建築物
Essential building structure for Akō City landscape
- 説明板・案内図（人名は赤穂義士宅跡）
Information board



赤穂城・赤穂城下町へのいざない

赤穂城下町は、室町時代につくられた砦から始まりました。江戸時代になると、池田家による治世を経て正保 2（1645）年に浅野家が治めるようになりました。この頃に現在の赤穂城が築かれるとともに、城下町が拡大整備されます。

現在の町は、いくらか改変されていますが、戦を強く意識し、城に簡単にたどり着けないよう複雑につくられた町割りがよく残っています。皆さんも花岳寺から大蓮寺、萬福寺の周辺を歩いてみると思わず道に迷ってしまうことでしょう。

このほか赤穂義士の屋敷跡前に設置された義士説明板や、元和 2（1616）年より約 350 年間使用された旧赤穂上水道のモニュメント、さらに街角にはユニークな博物館などもあります。赤穂城跡へ入る前に、ゆっくりと見学されてみてはいかがでしょうか。

赤穂城跡には、本丸門、本丸庭園、二之丸庭園や三之丸大手門枡形など、当時をしのぶことができる復元をはじめ、花見広場など一息つけるスポットもありますので、ぜひ探訪ください。

赤穂城下の寺社めぐり

Temples and Shrines

赤穂城下町の寺は、戦が起こった際に兵が集まる屯所としての役割をもっていました。そのため、姫路海道、備前海道、船入の付近といった、戦略的な場所に建てられています。すでに中世には建立されていたものもあり、その歴史の古さがうかがえます。

かつて赤穂を治めた浅野家、森家にまつわる資料や、忠臣蔵で有名な赤穂事件に関連する資料を所蔵する寺社も多く、訪ねてみるのも良いでしょう。

福泉寺

ふくせんじ
Fukusenji Temple

寛文5（1665）年に開創された法華宗の寺院で、山号を長遠山と称する。境内には茅野和助の子猪之助の墓があるほか大石頼母助の書簡が伝えられている。

なお、幕末の文久事件により藩政から退けられた村上真輔の次男河原駱之助が藩領外へ立ち退く途中、襲撃の企てがあることを知り福泉寺で自害しており、境内にはその墓がある。

高光寺

こうこうじ
Kokoji Temple

山号を法耀山と称する高光寺は、もと大津村にあって妙典寺と称していたが、寛永17（1640）年に現在地に移された日蓮宗の寺院である。明暦3（1657）年には浅野長直から本尊の寄進を受け、寛文2（1662）年には長直夫人の菩提寺となり、延宝2（1674）年にその法名高光院を用いて寺号を改めた。

寺には原惣右衛門が奉納した直筆の法華経8巻、大石内蔵助良雄画の大黒天画像、浅野家寄進の三十番神画像、鬼子母神十羅刹女画像のほか、義士の位牌などが残されている。

花岳寺

かがくじ
Kagakuji Temple

正保2（1645）年に浅野長直が父華嶽院と母台雲院の菩提寺として建立し、その法名から台雲山華嶽寺と称した。曹洞宗永平寺の末寺である。以後歴代赤穂藩主となる永井家、森家の菩提寺でもある。

境内には浅野・森家墓碑、赤穂義士47人の墓碑、義士宝物館、義士木造堂、大高源五の句碑などがあり、赤穂藩や義士関連資料が数多く保存されている。山門はもと城下町の西惣門であったものを明治6（1873）年に花岳寺21代仙珪和尚が購入移築したものである（市指定文化財）。また赤穂城の縄張を行った近藤正純の墓もある。

常清寺

じょうせいじ
Joseiji Temple

慶安年間（1648～1655）に開創された真言宗の寺院で、山号は春日山と称する。もとは東性寺とあったが浅野長直の3回忌の延宝3（1675）年に長直の法号をとって寺号とし常清寺と改名した。城下町の東北隅に位置し、東惣門の抑えとしての役割をもっていたという。寺には浅野家からの寺領寄進状が残されている。

大蓮寺

だいれんじ
Dairenji Temple

浄土宗の寺院で、山号を照満山と称する。もとは北方の山麓にあったと伝えられ、城下町が形作られるとともに加里屋に移された。加里屋最古の寺院である。特に浅野長友の夫人戒珠院の帰依を受け、境内には戒珠院の墓があるほか、大石内蔵助良雄の寄進と伝えられる稲荷神社と石灯笼がある。また、大川安碩、赤松蘭室、神吉東郭といった、幕末期の文人の墓が多くある。

萬福寺

まんぷくじ
Manpukuji Temple

真宗大谷派の寺院で、山号を大嶋山と称する。もと英賀（姫路市）に建立されていたが、那波大島（相生市）を経て天正年間（1573～1592）に加里屋に移った。

随鷗寺

ずいおうじ
Zuioji Temple

元和2（1616）年に開創された臨済宗の寺院で、山号を江西山と称する。その開山の雲甫は不生禪を確立した盤珪の師である。かつて寺の裏は熊見川に面し、浅野時代には遠林寺とともに水軍の屯所としての役割も担っていた。

境内の墓地には義士の肉親や近藤源八の墓がある。

浄念寺

じょうねんじ
Jonenji Temple

真宗本願寺派の寺院で、山号は等力山である。明応4（1495）年釈浄が開基した。かつて萬福寺前にあった小庵が、元禄15（1702）年に現在の場所に移ったという。

永應寺

えいおうじ
Eioji Temple

延徳2（1490）年に開創された浄土真宗本願寺派の寺院で、「播磨六坊」のひとつに数えられ、山号は朝日山と称する。寺には浅野長矩の遺品として、大石内蔵助良雄から寄進された喚鐘とその際の書状が残されている。また墓地には、花岳寺の「忠義塚」の碑文選者で、享保12（1727）年に『播州赤穂郡志』を表した藤江忠廉の墓がある。

赤穂大石神社

あこうおおいしじんじや
Ako Oishi Jinja Shrine

赤穂城跡三之丸にあった大石内蔵助及び藤井又左衛門の屋敷跡に建てられた神社。大正元（1912）年に創建されたもので、祭神は赤穂義士47名及び茅野三平、浅野家3代、森家の先祖7代の武将。境内には義士宝物館があり、義士ゆかりの資料が展示公開されている。また義士木造館には浅野内匠頭長矩や大石内蔵助良雄をはじめとする義士の木像が展示されている。

赤穂城跡内の散策は『播州赤穂の城散歩』が便利です。ご利用ください。



赤穂城下の上水道めぐり

Waterworks in Edo era

①農業用水との分岐

②旧上水道モニュメント

江戸時代は開渠で導水されていたこの場所に、一つ目のモニュメントがつけられています。

展示されているのは大正～昭和初期に実際に使用されていた、陶器製の上水道管です。

③百々呂屋裏大枡

7km上流から取水された上水道の導水路は、城下町北端にあるこの枡に接続します。2間(約4m)四方あったこの石組み枡からは暗渠となり、城下町や城へと運ばれました。発掘調査で見つかり、道路に平面表示されています。

④息継ぎ井戸(いきつぎ広場)

江戸から早籠で駆けてきた茅野三平と早水藤左衛門が一休みしたという井戸。現在はトイレ、周辺案内図板のほか、義士行燈も備えた城下町のガイダンス施設となっています。公園脇には上水道管等の実物も。

⑤水琴窟モニュメント

水琴窟とは、底に穴をあけた陶器を逆に据え、上から水を流して内部の水の音を楽しむ施設です。モニュメント裏側には、江戸時代から使われていた実物の上水道汲出枡が残されています。

⑥配水路間枡

現在は失われてしまった、城下町の街路の下を通っていた上水道の枡が残されています。江戸時代には、この地点を南方に流れ、赤穂城へと結ばれていました。

⑦旧上水道モニュメント

赤穂城跡三之丸大手門前の公園にあります。①の分岐から導水された水は、最終的にここに導かれ、モニュメントの水を潤しています。公園内には地図もあり、旧上水道のガイダンスも兼ねています。

近隣施設のご案内

赤穂市立歴史博物館

Ako City Museum of History

問合せ先 0791 (43) 4600

「塩と義士の館」を愛称とする博物館。赤穂の歴史を古代から解き明かします。赤穂城跡のすぐ近くにあり、まずここで赤穂の歴史情報を入手するのがおすすめ。開館時間9:00～17:00、休館日：水曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始 入館料：200円、小人100円(団体割引あり)

赤穂市立民俗資料館

Ako Folk Culture Museum

問合せ先 0791 (42) 1361

資料館として使われている建物は、日本現存最古の塩務局の庁舎(県指定文化財)。内部では、様々な民俗資料のほか、季節にあった企画展示も行われています。開館時間9:00～17:00、休館日：水曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始 入館料：大人100円、小人50円(団体割引あり)

赤穂市立海洋科学館

Ako Marine Science Museum

問合せ先 0791 (43) 4192

県立海浜公園内にあり、海洋全般に関する知識を学ぶことができます。科学館横にある「塩の国」では入浜塩田や枝条架といった製塩施設が復元され、塩づくり体験もできます。開館時間：9:00～16:30、休館日：火曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始 入館料：大人200円、小人100円(団体割引あり)、入館者塩づくり体験無料(団体は連絡要)

赤穂市立田淵記念館

Ako City Tabuchi Museum of Art

問合せ先 0791 (42) 0520

隣接する田淵家から寄贈を受けた品々を中心に展示しています。国名勝田淵氏庭園とその眼前に広がる瀬戸内海の海岸美、そして温泉街では風情のある街並みが見られます。開館時間：9:00～17:00、休館日：火曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始 入館料：大人200円、小人100円(団体割引あり)

赤穂情報物産館

Ako Information Center

問合せ先 0791 (43) 5920

J R 播州赤穂駅と赤穂城跡のちょうど間にある、市のアンテナショップ。1階は市内の物産を集めた販売所、2階は忠臣蔵、赤穂義士に関する資料館になっています。時期によっては企画展の開催も。開館時間：10:00～17:00、休館日：水曜日。入館無料。

赤穂緞通加里屋工房

AKO DANTSU Kariya Workshop

問合せ先 0791 (45) 0606

明治初期に生み出された、日本三緞通のひとつ。緞通織の伝統技術が保存継承され、製作が続けられています。ここでは織る様子を見学でき、織機体験もできます(有料)。不定期開館、事前連絡必要。入館無料。

赤穂玩具博物館

Ako Toys Museum

問合せ先 0791 (45) 7778

趣味だった、レトロなおもちゃの収集が実って、博物館が作られました。開館時間：平日12:00～19:00(土日祝日は10:00、3と8のつく日は15:00から) 休館日：火曜日。入館料：大人330円、中学生220円、小学生110円、幼児以下47円。

赤穂オルゴール館ルヴィーブル

Ako Orgel Shop "Revivre"

問合せ先 0791 (42) 1205

200年の歴史をもち、癒しの効果が明らかになっているスイスオルゴールをたくさん見ることができます。お手軽なものから本格的なものまであり、販売も行っています。開館時間10:00～19:00、休館日：木曜日、入館無料。

赤穂市教育委員会生涯学習課文化財係 0791(43)6962
Webサイト <http://www.ako-hyg.ed.jp/bunkazai/>

赤穂市観光情報センター(観光案内所)0791(42)2602
Webサイト <http://ako-kankou.jp>